

2022年2月22日  
住友生命保険相互会社

## 住友生命とユカイ工学、モシーモ、三菱総研による 「夫婦の明るい子育て応援サービス」 取組み始動

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、ユカイ工学株式会社（代表取締役 青木 俊介、以下「ユカイ工学」）、株式会社モシーモ（代表取締役 竹村 由賀子、以下「モシーモ」）、株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 藪田 健二、以下「三菱総研」）と、家事育児で大変な毎日を明るく生き活きとしたものにするために、妊娠期から産後3か月までの世帯を中心とした子育て応援サービス（以下、「本サービス」）の実装に向けた取組みを始動します。

また、今般、協業先のユカイ工学との連携を強化すべく、CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）ファンド「SUMISEI INNOVATION FUND<sup>※1</sup>」（以下「本ファンド」）からの出資を決定しました。

※1 SUMISEI INNOVATION FUNDの詳細は住友生命ホームページをご参照ください。

<https://www.sumitomolife.co.jp/about/cvc/>

### 1. 本サービス検討の背景

乳幼児を育てる夫婦は、心と身体に多くの負荷を抱えています。産前産後の母親のうち、10人に1人はうつ病の可能性があると言われており<sup>※2</sup>、その母親の多くが、自身が危険な状態にあることを認識できていないという結果も明らかになっています<sup>※3</sup>。

また、コロナ禍の影響により、産後うつの可能性がある母親は増加しています<sup>※3</sup>。父親の産後うつ（パートナーの妊娠期から産後1年までの期間における父親のメンタルヘルス不調）にも近年注目が集まっており<sup>※4</sup>、大きな社会課題になっています。

住友生命では、こうした社会課題を解決するため、日々の家事・育児の負荷や不安、ストレス等を解消する子育て応援サービスの実装を検討してきました。

※2 公益社団法人 日本産婦人科医学会のホームページより。 <https://www.jaog.or.jp/qa/confinement/jyosei200311/>

※3 NHK NEWS WEB 母親の「産後うつ」 コロナ影響で倍増のおそれ 研究者調査より。

[https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201014/amp\\_k10012662971000.html](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201014/amp_k10012662971000.html)

※4 父親の産前・産後のうつの実態とその支援 医学会新聞（看護号）：第3405号より。

[https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2021/3405\\_02](https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2021/3405_02)

## 2. 本サービス実装に向けた取組みについて

住友生命は、三菱総研が運営する未来共創イニシアティブ(ICF<sup>※5</sup>)の共創会員として2019年から参画し、「産後うつを未然に防ぎ明るい子育て生活を応援する」というコンセプトのもと、三菱総研、ICFのスタートアップ企業会員であるユカイ工学、モシーモと共に検討を重ねてきました。

まずは、出産前後の子育て世帯に本サービスを体験いただき、効果等の検証を行うべく、実証実験の実施を予定(2022年8月頃)しています。

※5 未来共創イニシアティブ(ICF)の詳細は三菱総研ホームページをご参照ください。<https://icf.mri.co.jp/>

### a. ユカイ工学が提供するサービス

ユカイ工学が販売しているコミュニケーションロボット「BOCCO emo<sup>※6</sup>」(ボッコ・エモ)および搭載している音声UIを活用します。BOCCO emoの活用により、子育ての孤独感や不安感を軽減し、夫婦間のコミュニケーション向上が期待されます。



※6 BOCCO emoの詳細は右記をご参照ください。<https://www.bocco.me/>

### ■コミュニケーションロボット「BOCCO emo」の概要

BOCCO emoは、感情表現豊かな家族をつなぐコミュニケーションロボットです。様々な情報を届け、家族の一員として振る舞います。音声メッセージの送受信やリマインド機能、天気情報の配信、ハンズフリー対話、人が近くにいるかのセンシングも可能です。

専用のBOCCO emoアプリでは、家族内でのメッセージのやりとりや、センサーの反応を確認することができます。BOCCO emoから送った声はスマホに音声とテキストで届き、スマホから送った声や文字はBOCCO emoがしゃべってお知らせしてくれます。また、APIによるシステム連携で様々なサービスと連動し、生活者に寄り添った取組みを実現します。簡単な操作で家庭内や外部サービスとコミュニケーションを取ることができます。



### b. モシーモが提供するサービス

モシーモが持つ子育て支援「tomoiku」AIチャットボットを活用し、保育士や助産師といった子育て専門家の育児ノウハウを本サービスへ組み込み、「共育環境」を構築し、子育ての育児不安・孤育に寄り添い、サポートすることで、家族間コミュニケーションや、夫婦間コミュニケーションの向上を支援します。

### 3. ユカイ工学への出資の背景

ユカイ工学のファミリーロボット「BOCCO emo」が本サービスの目的に有用であると考え、連携を強化すべく本ファンドからの出資を決定しました。今後、本サービス以外の住友生命が検討する様々な Well-being サービスにおいても、更なる事業共創に向け協業していきます。

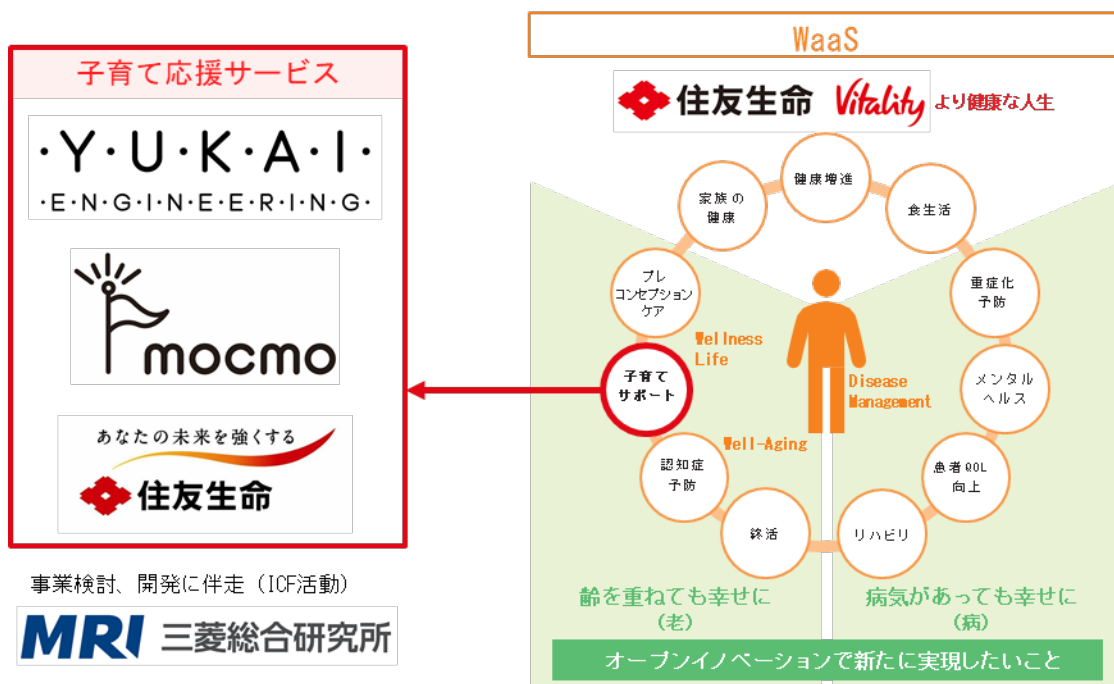
### 4. 住友生命の WaaS について

住友生命は、豊かで明るい健康長寿社会の実現に加え、「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング（Well-being<sup>※7</sup>）」に貢献し、「なくてはならない」生命保険会社を目指しています。その実現のために、Vitality 健康プログラムを中心とする WaaS（Well-being as a Service<sup>※8</sup>）エコシステムを構築し、様々な Well-being サービスでお客さまとつながり、そこから得られる多様なデータを活かして、一人ひとりのお客さまにより適したサービス、最適な保障をお届けしていきたいと考えています。

※7 Well-being とは、「健康」に対する新たな価値観であり、「身体的・精神的・社会的・経済的に幸せとを感じる状態」、ひいては「そうあるための行動、選択、ライフスタイルを積極的に追求すること」です。

※8 WaaS（Well-being as a Service）とは、Well-being に資するサービスエコシステムのことです。

#### <ユカイ工学、モシーモ、三菱総研との事業共創領域>



[WaaS 取組みイメージ]

## 5. 各社の概要

### a. ユカイ工学

会 社 名：ユカイ工学株式会社

事 業 内 容：ロボット/ハードウェア 開発・製造・販売

設 立：2007年12月

代 表 者：代表取締役 青木 俊介

本社所在地：東京都新宿区富久町16-11 武蔵屋スカイビル101号

### b. モシーモの概要

会 社 名：株式会社モシーモ

事 業 内 容：保育園運営、子育て支援プラットフォーム開発、幼児玩具製造、幼児向け  
デジタルコンテンツ開発

設 立：2012年1月

代 表 者：代表取締役 竹村 由賀子

本社所在地：東京都中央区築地7-2-13 RINGOビル

### c. 三菱総合研究所の概要

会 社 名：株式会社三菱総合研究所

事 業 内 容：シンクタンク・コンサルティングサービス・ITサービス

設 立：1970年5月

代 表 者：代表取締役社長 藪田健二、代表取締役副社長 水原秀元

本社所在地：東京都千代田区永田町二丁目10番3号

以上